

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

4D解析を用いて算出した大動脈弁の弁口面積と石灰化体積の関係性について

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年4月1日から2019年12月31日まで、当院において心臓CT検査および心エコーを施行した患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

経カテーテル的大動脈弁留置術(以下 TAVI)は、大動脈弁狭窄症の治療に有用で高齢者を対象に増加しています。大動脈弁狭窄症は弁が石灰化し、大動脈の弁口面積が狭小化する疾病と定義されています。TAVIにおける大動脈弁狭窄症の重症度診断は主に心エコーと心臓CTが用いられます。心エコーでの弁口面積の計測は、手技が煩雑であり石灰化が評価できないため、術者によって差が生じてしまうのが現状であります。一方、心臓CT検査は、大動脈弁の弁口面積や石灰化体積を計測できます。心臓CT画像を用いて大動脈弁の4D解析を行い、大動脈弁の弁口面積の計測に石灰化体積が影響するか検討します。本検討を行うことによって、心エコーでは評価できない石灰化体積を評価し、大動脈弁狭窄症の弁口面積の正確な計測が可能になることを目指しています。

研究期間

「医学研究科人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、医学研究科長の研究実施許可を得てから2021年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2017年4月1日から2019年12月31日までに、当院で心エコー及び心臓CTの検査を受けた外来・入院患者データを用います。調査項目は、患者背景（年齢、性別、既往、身長、体重）、心エコー画像及び心臓CT画像とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部

氏名：岡田 圭伍

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8461

研究責任者：岡田 圭伍